

今後の聳島における新繁殖地形成事業実施計画（案）

○繁殖期アホウドリのヒナ移送と人工飼育（（財）山階鳥類研究所）

1. 実施内容

- ・ 調査員の現地入りは 2010 年 1 月下旬。
- ・ 移送するヒナは 2009 年と同じ約 35 日齢（移送予定日は 2/5-10）。
- ・ 移送ヒナの体重は 3.5kg 前後と予測される ($BM=6.415*EXP(-EXP-0.057*(Age-21.5))$)。
- ・ 移送数は 15 ヒナ（利用するヘリに 1 度に載せられる最大数）。
- ・ 飼育方法は 2009 年と同じ。

2. 2010 年の追加項目

- ・ 聳島飼育地への衛星監視カメラの設置を、首都大学東京、(株)有人宇宙システムとの共同研究（責任者：首都大学東京 西谷隆夫）として、文科省が募集する宇宙利用促進調整委託費に申請。

3. 今後のスケジュール

2009 年 10 月	小笠原の関係者への事前連絡
2010 年 1 月下旬	鳥島、聳島でヒナの移送・受け入れの準備を整える。
2 月上旬	鳥島から聳島へヒナを運び飼育する。
5 月下旬	ヒナに送信機を装着、キャンプ設備撤去。

○デコイ・音声装置の設置・普及啓発について（環境省）

2009 年 10 月	デコイ・音声装置設置 設置までに、音声装置本体はメーカーにメンテナンスを依頼
2010 年 1 月	住民説明会の開催
5 月	デコイ・音声再生装置の撤去、住民説明会の開催